

第5章 松山遺跡第85地点の調査

I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。また、西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

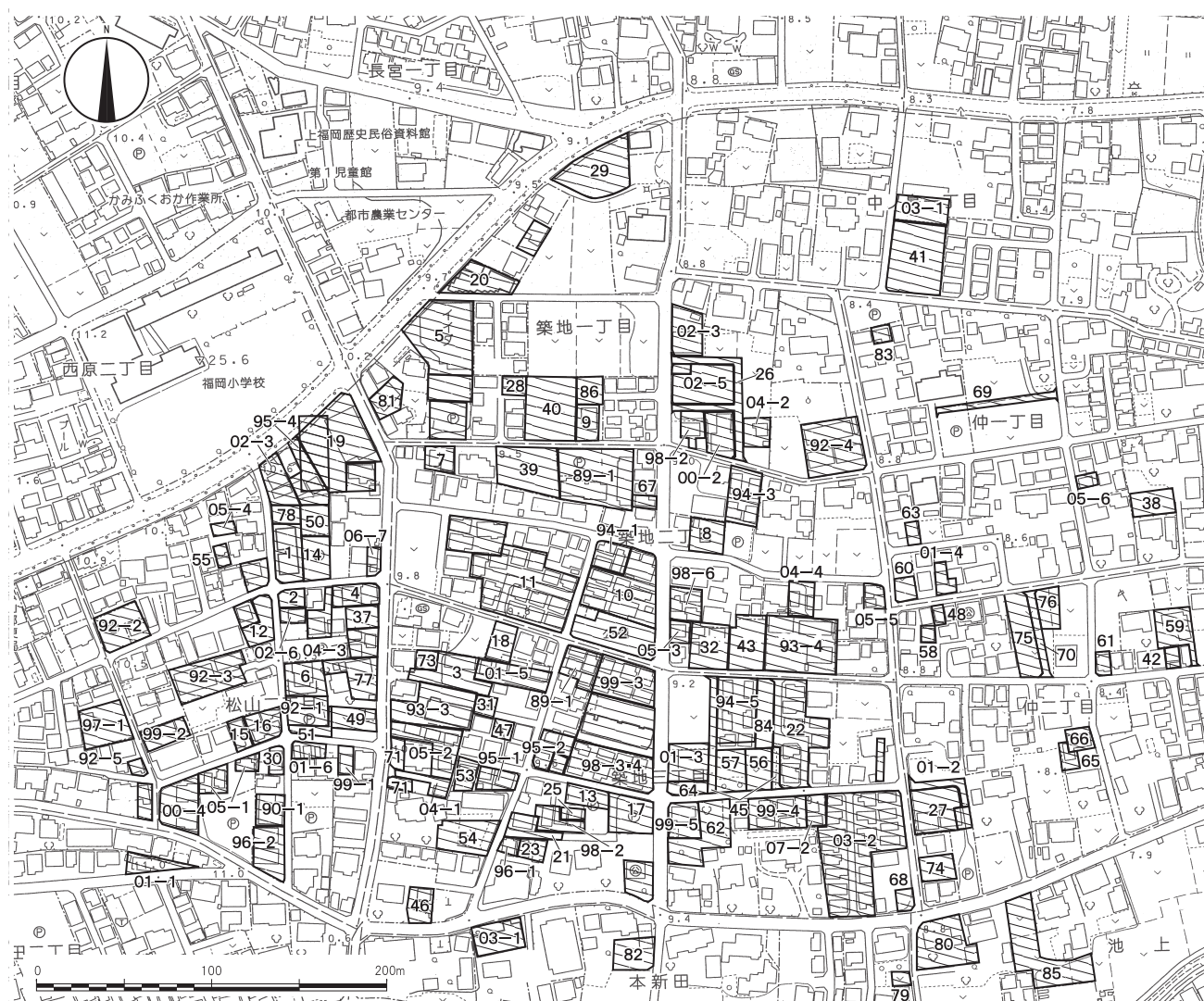
1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより約100ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は、

長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝、井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。

II 本調査に至る経過と調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年3月17日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南東端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年10月1日～19日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ8本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行った。



第26図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 15 表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
05 試(1)	松山 2-2-4 の一部	(2005.4.6～7)	313	土地分譲	遺構遺物なし	市内 1
05 試(2)	築地 3-1-32・34・43	(2005.4.19～21)	549	土地分譲	遺構遺物なし	市内 1
05 試(3)	築地 2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
31 次	築地 3-1-69	2005.6.14～23(2005.6.9～13)	120	個人住宅	古墳時代住居跡 1	市内 1
05 試(8)	築地 2-5-3	(2005.8.30～9.13)	567	宅地造成	平安時代住居跡 1	市内 1
32 次	築地 2-5-3 の一部	(2005.8.30～9.7)9.8～13	132	個人住宅	平安時代住居跡 2	市内 1
05 試(5)	築地 2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(4)	松山 2-4-23	(2005.10.20～21)	161	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(6)	仲 1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(7)	松山 2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内 2
37	松山 2-6-10・13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
38	仲 1-4-3・9・12・13・24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構遺物なし	市内 3
39	築地 2-3-10	(2007.1.10～20)	937	宅地造成	遺構遺物なし	市内 3
40	築地 1-1-5	(2007.2.2～8)2.21～3.9	1,047	宅地造成	奈良時代住居跡 1、中世遺構検出	市内 3
41	中ノ島 1-2-5	(2007.2.7～9)2.21～3.5	1,281	宅地造成	中世遺構遺物検出	市内 3
42	仲 2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
43	築地 2-5-2	(2007.4.11～24)	668	分譲住宅	堀跡 1、土坑 1、旧石器ナイフ 1 点	市内 4
44	築地 3-2-10・14	(2008.6.9～11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
45	築地 3-4-7 の一部外	(2008.9.4～30)10.1～23	390	道路	奈良平安時代住居跡 2、掘立柱建物跡 2、竪穴状遺構 1、時期不明の溝 10、土坑、ビット	市内 6
46	築地 3-1-33・35 の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
47	築地 3-1-52	(2009.5.11・12)	121	個人住宅	ビット	市内 8
48	仲 2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内 8
49	松山 2-6-1・14・22 の一部	(2009.10.17～22)10.27～11.18	449	宅地造成	平安時代住居跡 1(住居内鍛冶炉検出)、土坑 1、溝 1、ビット 1	市内 8
50	松山 2-5-3・17	(2009.11.27～12.1)	797	分譲住宅	溝 1、ビット 7	市内 8
51	松山 2-6-22・23・28 の一部	(2010.5.10～13)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 10
52	築地 2-2-1	(2010.8.26～9.3)	694	分譲住宅	溝 1、落とし穴 1、工事立会	市内 10
53	築地 3-1-11	(2010.9.10～21)	205	個人住宅	近代以降の溝 3、アナグラ 1、慎重工事	市内 10
54	築地 3-1-6・76～83	(2010.9.21～10.1)10.4～11.5	540	宅地造成	奈良平安時代住居跡 3 確認、西側 1 の住居は盛土保存、他 2 は本調査	市内 9
55	松山 2-4-24 の一部	(2011.1.17)1.18～31	226	個人住宅	奈良平安時代住居跡 1、掘立柱建物跡 1、本調査	市内 10
56	築地 3-4-7・8 の一部	(2011.4.4～14)4.11～15	483	共同住宅	奈良平安時代掘立柱建物跡 2 他、本調査(一部工事立会)	市内 11
57	築地 3-4-47	(20011.4.4～15)	241	分譲住宅	隣接する 45 地点から続く H34 号住居跡と溝、遺物なし	市内 14
58	仲 2-2-31	(2011.6.6～8)6.14	115	個人住宅	井戸 1、溝 1、ビット 1、本調査	市内 14
59	仲 2-3-6・9	(2011.8.8・9)8.10・11	560	個人住宅	土坑 2、溝 3、縄文土器、須恵器、本調査	市内 14
60	仲 1-1-15	(2012.3.26・27)	165	個人住宅	堀跡 1、溝 1、陶磁器、焙烙、工事立会	市内 14
61	仲 2-3-3	(2012.4.16～19)	113	個人住宅	溝 1、土坑 3、陶磁器	市内 15
62	築地 3-5-11・14・19	(2012.6.11～21)7.23～8.1	842	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、奈良平安時代住居跡 1、溝 6、縄文土器、銭貨、他	市内 12
63	仲 1-1-55・56・57	(2012.6.5)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
64	築地 3-4-9	(2012.6.7～15)	314	分譲住宅	溝 4、近世の土坑、陶磁器	市内 15
65	仲 2-1-25・36	(2013.2.13～18)2.19～3.21	630	物置	奈良平安時代住居跡 2、掘立柱建物跡 3、土坑 6、溝 6、須恵器、旧石器	市内 15
66	仲 2-1-53・54		179	個人住宅		市内 15
67	築地 3-3-13	(2013.2.19)	92	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
68	築地 3-5-1	(2013.3.7・8)	166	個人住宅	井戸 1、土坑 1、ビット 4、須恵器、土師器等	市内 15
69	仲 1-51・53・55	(2013.9.10・11)9.12～17	298	道路	縄文時代集石土坑 1、溝 1	市内 18
70	仲 2-2-39・41	(2013.4.11～16)4.17～23	220	道路	奈良平安時代住居跡 1、中世以降井戸 1、集石土坑 1、溝 2、須恵器、土師器、土錘、陶磁器	市内 18
71	築地 3-1-16・32・34	(2013.4.30～5.1)	240	分譲住宅	ビット 1、古銭、陶器片 1	市内 18
72	松山 1-4-1	(2013.5.24)	199	個人住宅	遺構遺物なし	市内 18
73	築地 3-1-56	(2013.8.19)8.20	165	個人住宅	平安時代住居跡 1、須恵器	市内 18
74	仲 2-1-37	(2013.12.24～26)	280	分譲住宅	井戸 1、集石土坑 1、溝 2、土坑 1、陶磁器	市内 18
75	仲 2-2-2・4	(2014.1.14～20)8.5～11	606	分譲住宅	平安時代住居跡 1、溝 3、須恵器、土師器	市内 18
76	仲 2-2-48	(2014.1.22～28)9.26～10.2	120	個人住宅	土坑 1、井戸 1、溝 1、土器	市内 18
	仲 2-2-37(6 区画)	(2014.1.22～28)11.12～17	120	個人住宅	奈良時代住居跡 1(70 地点と同一)、土師器	市内 18
	仲 2-2-37	(2014.1.22～28)	362	宅地造成	奈良時代住居跡 1(70 地点と同一)、井戸 2、溝 2、土坑 3、土師器、須恵器、中世陶器	市内 18
77	松山 2-6-2・3・12 の各一部	(2014.3.3～12)3.13～27	493	個人住宅	平安時代住居跡 1、土坑 3、土師器、須恵器	市内 18
78	松山 2-5-5	(2013.5.22)	242	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
79	本新田 395-1 の一部	(2014.8.5)	153	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
80	池上 372	(2015.3.12)	1,183	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
81	築地 1-1-12	(2015.3.23)	247	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
82	本新田 411 の一部	(2015.7.30・31)	194	個人住宅	溝 1、遺物なし	未報告
83	仲 1-2-22	(2015.8.31)	98	分譲住宅	溝 1、遺物なし	未報告
84	築地 3-4-13	(2015.9.15・16)	455	宅地造成	平安時代住居跡 1、井戸 1、土師器	未報告
85	池上 362-1 の一部、364・365・366 の一部	(2015.10.1～19)10.20～26	1,244	分譲住宅	奈良平安時代住居跡 2、屋外の焼土跡 1、中近世以降の溝 5、須恵器、土師器、陶磁器、鉄製品、石製品	市内 19
86	築地 1-1-4	(2016.7.5・7)	294	分譲住宅	溝 1、遺物なし	未報告

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書



第 16 表 松山遺跡古代住居跡一覧表（単位 cm）

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉 カマド K	設置壁	カマド 規模 cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
1	1978	第 1 次 1 号住居	完掘	正方形	390 × 380	K	東	110 × 75	○		国分前半		埋蔵文化財の調査 I
2	"	第 1 次 2 号住居	完掘	台形	360 × 320	K	東	120 × 85	○		国分前半		埋蔵文化財の調査 I
3	1979	第 2 次 3 号住居	2/3	(方形)	350 × × 10	K	東		一部		国分後半		埋蔵文化財の調査 II
4	"	第 3 次 4 号住居	完掘	方形	530 × 475	K	北	200 × 100	○	N-14-E	国分後半		埋蔵文化財の調査 II
5	1991	第 10 次 5 号住居	完掘	長方形	230 × 350	K	北→東		○		9C 2 半期		埋蔵文化財の調査 14
6	"	第 10 次 6 号住居	2/3	方形	340 × 300	K	東		○		9C 2 半期		埋蔵文化財の調査 14
7	"	第 11 次 7 号住居	完掘	正方形	400 × 400	遺存状態悪い			○		8C 4 半期		埋蔵文化財の調査 14
8	1992	第 13 次 8 号住居	3/4	(方形)	400 ×					N-10-E	8C 3 半期		埋蔵文化財の調査 15
9	1993	第 15 次 9 号住居	完掘		A440 × 350、B420 × 310、C260 × 300	K	東→北	A210 × 210、B210 × 210、C80 × 65	○		9C 1 半期	鉄鉢型須恵器出土	埋蔵文化財の調査 16
10	"	第 16 次 10 号住居	1/3	正方形	560 × 560	K	北	130 × 80	○		8C 4 半期		埋蔵文化財の調査 16
11	"	第 17 次 11 号住居	完掘	方形	600 × 600	K	北		○	最大住居	7C 4 半期	黒色土師器出土	埋蔵文化財の調査 16
12	"	第 18 次 12 号住居	完掘	方形	400 × 320	K	北		(○)		8C 4 半期		埋蔵文化財の調査 16 と市史
13	1994	第 19 次 13 号住居	完掘	長方形	450 × 300	K	北		○	N-5-E	9C 1 半期		松山遺跡第 19 次調査概要
14	"	第 19 次 14 号住居	完掘	長方形	450 × 500	K	東→北		○	N-5-E	9C 1 半期	土鍾出土	松山遺跡第 19 次調査概要
15	"	第 20 次 15 号住居	完掘	長方形	370 × 470	K	北西	70 × 70	○		7C 4 半期		松山遺跡第 20 次の調査
16	1995	7 年試掘(2) 16 号住居								N-20-W	6C		未報告
17	"	第 21 次 17 号住居	完掘	長方形	480 × 400	K	北		○		7C 4 半期		埋蔵文化財の調査 19
18	1997	第 22 次 18 号住居	完掘	長方形	240 × 460	K	東	90 × 60	○	N-50-E	8C 末		埋蔵文化財の調査 20
	"	第 22 次 1 号掘立	部分	長方形	東西 5 間 南北 3 間						8C 末～9C 初		埋蔵文化財の調査 20
	"	第 22 次 2 号掘立	部分	長方形	東西 2 間 南北 2 間						8C 末～9C 初		埋蔵文化財の調査 20
	"	第 22 次 3 号掘立	部分	長方形	(東西 2 間)南北 3 間						8C 末～9C 初		埋蔵文化財の調査 20
19	1998	第 23 次 19 号住居	4/5	長方形	260 × 290				○	N-30-W	8C 後半	土鍾 6 点出土	埋蔵文化財の調査 21
20	1999	第 25 次 20 号住居									8C 初頭	暗紋土師器	市史通史編
21	"	第 25 次 21 号住居									8C 初頭		未報告
22	2000	第 26 次 22 号住居	完掘		360 ×	K	北		○		7C 後半	14 年度完掘、焼失住居	埋蔵文化財の調査 23
23	"	第 27 次 23 号住居	完掘	台形	600 × 720	K	北		○		8C 半ば		埋蔵文化財の調査 23
24	2001	第 28 次 24 号住居	1/2		340 ×	K	北西		○		8C 中葉		埋蔵文化財の調査 24
25	2000	12 年度試掘 5	2/3			遺存状態悪い							埋蔵文化財の調査 23
26	2002	第 29 次 26 号住居	完掘	長方形	420 × 360	K	北		○		7C 後半		埋蔵文化財の調査 25
27	2003	15 年度試掘 27 号住居	一部		(盛土保存)							プランのみ確認	埋蔵文化財の調査 26
28	"	15 年度試掘 28 号住居	1/2		(盛土保存)							プランのみ確認	埋蔵文化財の調査 26
29	"	第 30 次 29 号住居	完掘	長方形	360 × 420	K	東		○		9C 前半		埋蔵文化財の調査 26
30	2005	第 31 次 30 号住居	完掘	長方形	360 × 600	K	北		○			土鍾出土	市内遺跡群 1
31	"	第 32 次 31 号住居	完掘	長方形	380 × 330 ×	K	東		○	S-65-E	9C 中葉		市内遺跡群 1
32	"	第 32 次 32 号住居	1/2	長方形	東西 4 m×南北 3 m以上	K	東		○	S-85-E			市内遺跡群 1
33	2006	40 地点 H33 号住居	完掘	方形	455 × 420	K	北	98 × 154	○	N-5-E	8C 後半		市内遺跡群 3
34	2008	45 地点 H34 号住居	完掘	方形	364 × 361	K	東	122 × 125	○	N-96-E			市内遺跡群 6
35	2008	45 地点 H35 号住居	1/2	(方形)	504 × (222)				○			焼失住居	市内遺跡群 6
36	2009	49 地点 H36 号住居	完掘	方形	280 × 290	K	東	105 × 100	○	N-92-E	8C 後半	鍛冶炉 1	市内遺跡群 7
37	2010	54 地点 H37 号住居	完掘	方形	434 × 524	K	北	70 × 86	○	N-13-E	8C1 四半期		市内遺跡群 9
38	2010	54 地点 H38 号住居	一部	方形	(440) × 468	K	東	95	○	N-107-E	8C1 四半期	プラン確認	市内遺跡群 9
39	2010	54 地点 H39 号住居	完掘	方形	336 × 459	K	北	79 × 101	○	N-4-E	8C1 四半期		市内遺跡群 9
40	2011	55 地点 H40 号住居	3/4	(方形)	(300) × (320)	K	東	95 × 123	○	N-90-E	9C 前半		市内遺跡群 10
41	2012	62 地点 H41 号住居	3/4	(方形)	410 × (300)	K	北			N-18-E			市内遺跡群 12
42	2013	65・66 地点 H42 号住居		方形	460 × 440	K	東	110 × 106	○	N-62-E	9C 前半		市内遺跡群 15
43	2013	66 地点 H43A 号住居		方形	470 × 470	-	-	-	-	N-66-E	9C 中葉前後以降		市内遺跡群 15
	2013	66 地点 H43B 号住居		方形	700 × 700	K	東		○	N-66-E	9C 中葉前後以降		市内遺跡群 15
44	2013	70・76 地点 H44 号住居		(長方形)	(420) × 340	K	北	80 × 65	○		8C 前半		市内遺跡群 18
45	2013	73 地点 H45 号住居		不明	(238 × 125)				○		8C 後半		市内遺跡群 18
46	2013	75 地点 H46 号住居		不明	(320 × 145)				○		8C 前半～中		市内遺跡群 18
47	2013	77 地点 H47 号住居		不明	410 × (95)	K	北	156 × 135	○		8C 中～後半		市内遺跡群 18
48	2015	85 地点 H48 号住居	完掘	(長方形)	356 × (270)	K	北	133 × (96)	○	N-65-E	9C 後半		市内遺跡群 19
49	2015	85 地点 H49 号住居	1/2	(長方形)	(225 × 70)	K	北	82 × 50		N-60-E	9C 後半		市内遺跡群 19

人力による調査は地山ローム層で遺構確認を行い、トレンチ2で古代の住居跡とみられるプランと焼土跡を確認した。トレンチ4では古代の住居跡と中近世以降の溝（溝1・3・4）を、トレンチ5～8でも溝（溝1～3）を確認した。現地表面から地山ローム層までの深さは約50～60cmであった。旧石器時代の確認調査は行っていない。

原因者と再協議の結果、トレンチ9は道路部分にあり、上下水道等の埋設が行われ遺跡への影響が避けら

れないため、原因者負担による本調査を行った。他の部分については、約30cmの盛土を行うため、遺跡への影響がないので、工事立会いの措置とした。

本調査は、溝3の確認された部分を重機で拡張し、10月20日～26日まで人力による調査を行った。機材等の撤去は30日に行った。

遺構平面図、全体図の作成には平板測量を行った。

Ⅲ 遺構と遺物

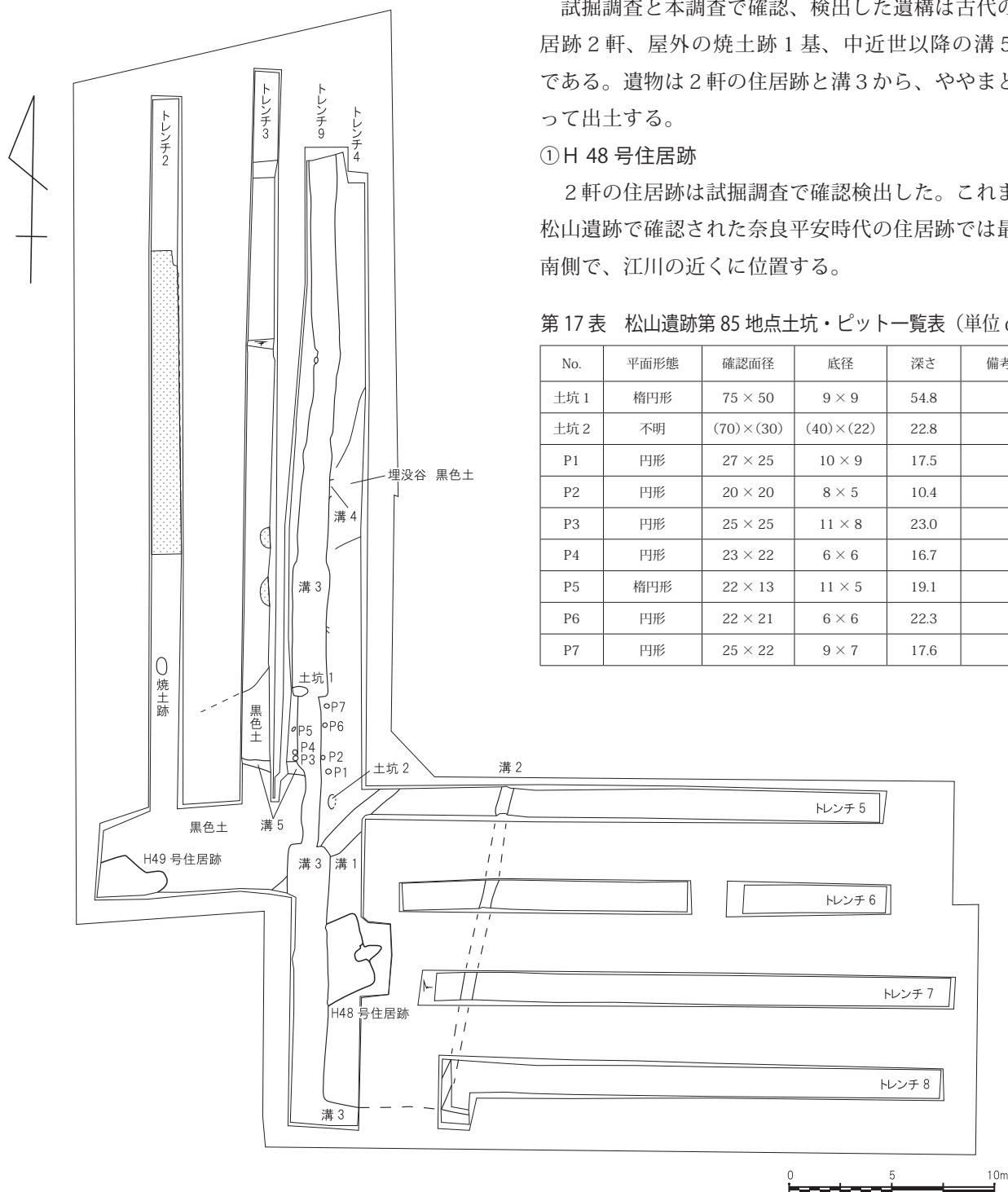
試掘調査と本調査で確認、検出した遺構は古代の住居跡2軒、屋外の焼土跡1基、中近世以降の溝5本である。遺物は2軒の住居跡と溝3から、ややまとまって出土する。

① H48号住居跡

2軒の住居跡は試掘調査で確認検出した。これまで松山遺跡で確認された奈良平安時代の住居跡では最も南側で、江川の近くに位置する。

第17表 松山遺跡第85地点土坑・ピット一覧表（単位cm）

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
土坑1	楕円形	75×50	9×9	54.8	
土坑2	不明	(70)×(30)	(40)×(22)	22.8	
P1	円形	27×25	10×9	17.5	
P2	円形	20×20	8×5	10.4	
P3	円形	25×25	11×8	23.0	
P4	円形	23×22	6×6	16.7	
P5	楕円形	22×13	11×5	19.1	
P6	円形	22×21	6×6	22.3	
P7	円形	25×22	9×7	17.6	



第28図 松山遺跡第85地点遺構配置図（1/300）

【位置・時期】本住居跡は調査区の南部に位置し、溝3に切られるため、全容は不明である。出土遺物から9世紀後半頃とみられる。主軸方位はN-65°-E。
 【形状・規模・掘方】平面形態は長方形を呈するとみられるが、溝3に切られるため全容は不明である。

検出部の規模は主軸の東西270 cm以上×南北356 cm、深さ17 cmである。掘方は地山ローム層まで全体的掘り下げた後、貼床を行う。

【ピット】ピットは確認されなかった。

【竈】住居跡北壁中央部やや南寄りに位置する。天井は崩壊しており、袖の一部と奥壁を検出した。左袖の周辺には構築部材の灰色粘土がみられる。内部の中央に支脚が直立した状態で出土した。

竈残存部の長軸133 cm以上、袖部の最大幅(96) cmである。竈内部は幅約40 cm、奥行き約73 cmで床面からの深さは約17.6 cmである。煙道部は住居の壁を奥行き約85 cm掘り込む。

【周溝】貼床後に周溝を掘り上げる。竈周辺部で途切れる。上幅21～35 cm、下幅11～20 cm、深さ5.8～8.7 cmである。

【遺物出土状況】竈内と住居跡床面から出土する。

【遺物】(第32図1～4) 1は須恵器坏、2は土師器甕、3は支脚で4は土製品の焼粘土である。詳細は第18表参照。

②H 49号住居跡

【位置・時期】本住居跡は調査区の南西端に位置し、調査区外に延び全容は不明である。出土遺物から9世紀後半頃とみられる。主軸方位はN-60°-E。

【形状・規模・掘方】平面形態は長方形を呈するとみられるが全容は不明である。

検出部の規模は主軸の東西70 cm以上×南北(225) cm以上、深さ10.7 cmである。竈と住居の北西隅の壁を検出したのみのため、掘方は不明である。竈前面の掘り込みはピットとした。

【周溝】周溝は確認されなかった。

【ピット】竈の前面に位置する。竈右袖と重なるため、柱穴ではなく、住居の掘方の一部と考えられる。

平面形態はほぼ円形を呈する。規模は確認面径50×45 cm、底径20×9 cm、深さ8.2 cmである。

【竈】住居跡北壁に位置する。天井部、袖は確認されず、僅かに焼土の分布と掘り込みを確認した。

竈内部は幅約82 cm、奥行き約50 cmで床面からの深さは約3.3 cmである。煙道部は住居の壁を奥行き約

50 cm掘り込む。

【遺物出土状況】ピット内と住居跡内から僅かに出土する。出土遺物は第18表参照。

③焼土跡

調査区の中央部西寄りに位置する。焼土範囲はほぼ楕円形を呈する。焼土層の観察から古代以前と考えられる。焼土層を取り除いた規模は上端82×58 cm、底径72×36 cm、深さ7.5 cmである。焼土範囲は45×(15) cmである。

④溝

溝は5本確認したが、溝4は断面だけを確認したため、土坑などの可能性も考えられる。溝3と溝5は切り合っており溝3が新しい。

【溝1】溝1と溝3は切り合っており、溝1が古い。溝1は調査区中央部に位置し北東から南西方向に延びる。断面は逆台形を呈する。規模は上幅54～115 cm、下幅33～55 cm、深さ32.8 cmである。

【溝2】溝2は調査区中央部付近に位置し、調査区外まで延びる。南側では溝3と切り合い、溝2が新しい。断面は「U」字形を呈する。規模は上幅50～75 cm、下幅32～35 cm、深さ21～28 cmである。

【溝3】溝1は調査区中央部を南北方向に直線的に延び、調査区南端で東にほぼ直角に曲がる。溝1、溝2、溝5と切り合っており、溝1・5より新しく、溝2より古い。

調査区中央部で、一部細く浅くなり陸橋状を呈する。深い部分の断面は逆台形を呈する。規模は深い部分が上幅130～190 cm、下幅78～158 cm、深さ43.2～62.6 cmである。細くなった部分は上幅75～101 cm、下幅36～45 cm、深さ30 cmである。細く、浅くなった部分の底部近くから遺物が僅かに出土する。第32図7～11で、第18表参照。

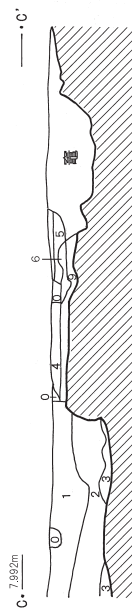
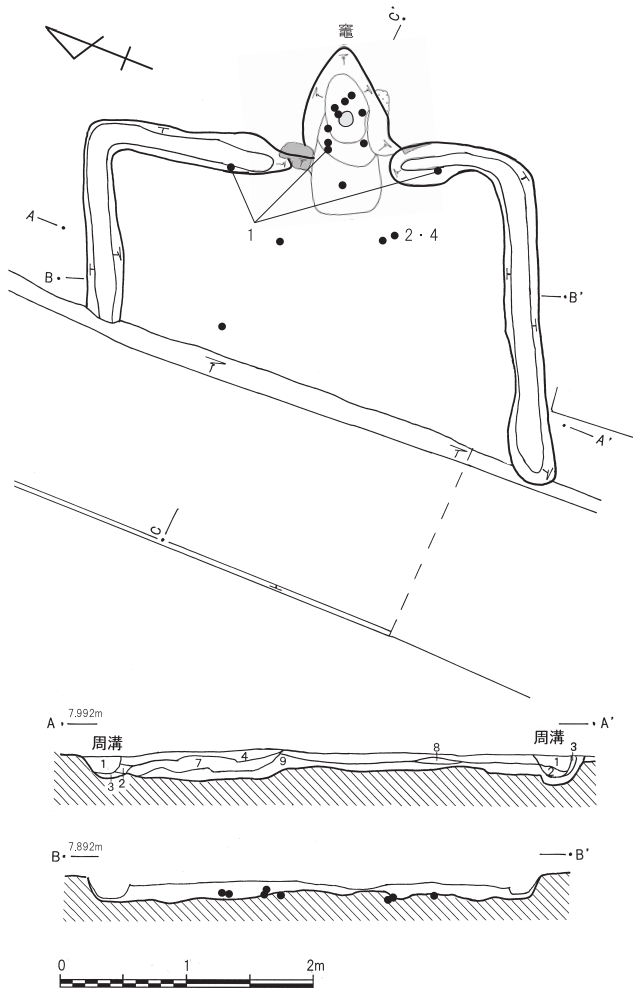
【溝4】溝2は溝3の検出時に、調査区東側の断面で確認した。断面は逆台形を呈する。規模は上幅146 cm、下幅112 cm、深さ30.5 cmである。

【溝5】溝5は調査区中央部付近に位置し東西方向に延びる。溝3と切り合い、溝5が古い。断面は「V」字形を呈する。規模は上幅75 cm、下幅45 cm、深さ29.4 cmである。

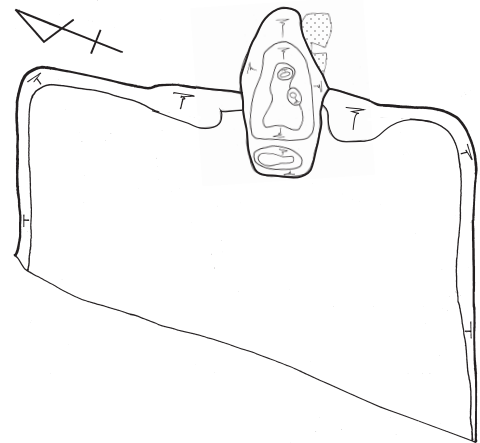
⑤土坑・ピット

土坑2基とピット7基は調査区中央部の溝3周辺に位置する。土坑、ピットともに覆土層の観察から、中近世以降とみられる。詳細については第17表を参照。

H48号住居跡



掘方

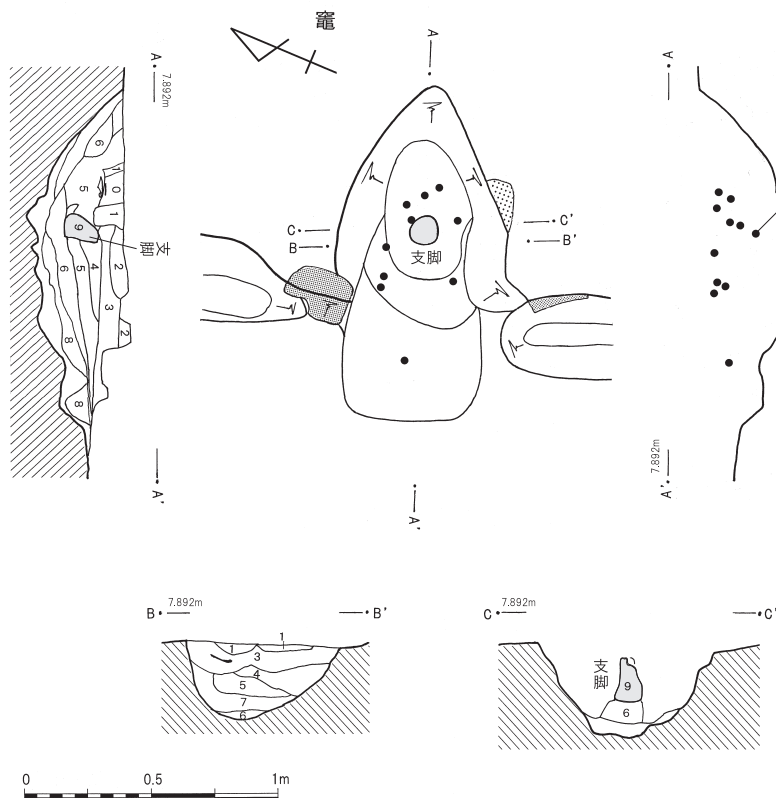


H48号住居跡

1. 黒褐色土 締り強、粘性弱、1～5mmのローム粒やや多量、酸化鉄少量含む
2. 黒褐色土 締りやや弱、粘性強、1～5mmのローム粒やや多量、酸化鉄含む
3. 黄褐色土 締りやや強、粘性強、ソフトローム層
4. 黒褐色土 締りやや強、粘性やや弱、1～5mmのローム粒少量、焼土粒微量に含む
5. 黒褐色土 締りやや強、粘性やや強、3～5mmのローム粒多量、竈構築土を微量に含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性やや強、焼土少量、炭化物微量、竈構築土を含む
7. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや強、褐色土をシミ状に含む
8. 褐色土 締り強、粘性やや強、焼土少量、黒褐色土をまばらに含む
9. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒、2mm以下焼土粒・炭化物粒少し含む、上面に粘土・焼土・炭化物有り

周溝

1. 暗褐色土 締りやや強、粘性やや弱、5mm大のローム粒微量に含む
2. 暗褐色土 締りやや弱、粘性強、1～5mmローム粒少量、焼土粒微量、黒色土・ロームがブロックに含まれる
3. 暗褐色土 締りやや弱、粘性やや強、黒色土・ロームがブロック状に含まれる



掘方



竈

0. 攪乱
1. 灰白色土 締り強、粘性有、3mm以下シミ状黒褐色土・暗赤褐色土を少し含む、竈構築粘土（粘土主体）
2. 黒色土 締り強、粘性有、1mm以下灰白色粘土・焼土粒極少し含む
3. 暗灰褐色土 締り強、粘性有、暗灰褐色粘土主体に2mm以下焼土・灰白色粘土粒多く含む（粘土主体）
4. 暗灰赤褐色土 締り強、粘性有、シミ状暗赤褐色土主体に2mm以下焼土粒多く含む
5. 黒褐色土＋暗赤褐色土 締り強、粘性有、4層に類似だが黒色土主体で2mm以下焼土粒を4層より多く含む
6. 暗灰褐色土＋黒褐色土 締り強、粘性有、灰白色粘土と黒色土主体に2mm以下シミ状焼土多く含む、6層上面が灰原燃焼面
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、5層に類似するが、ローム粒・焼土粒はシミ状を呈する、灰原
8. 黒色土 締り強、粘性有、黒色土のみで、シミ状に5mm以下暗褐色土を極少し含む（竈の粘土）
9. 支脚

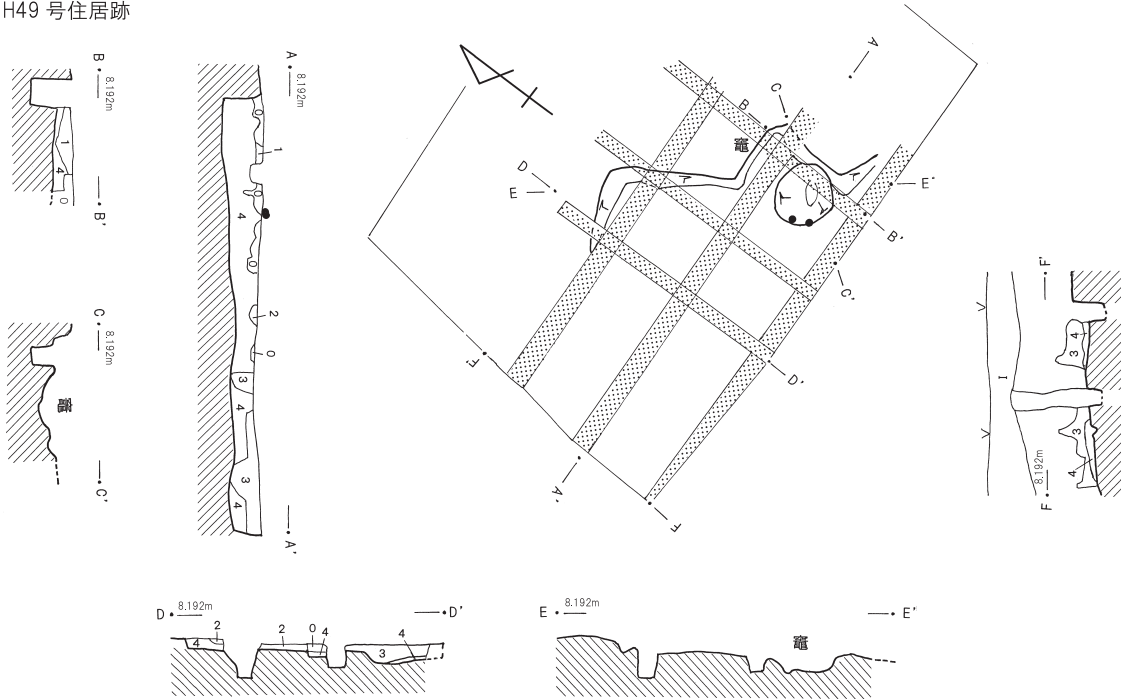
第29図 松山遺跡第85地点 H48号住居跡 (1/60)、竈・掘方 (1/30)

⑥出土遺物（第 32 図 1～14）

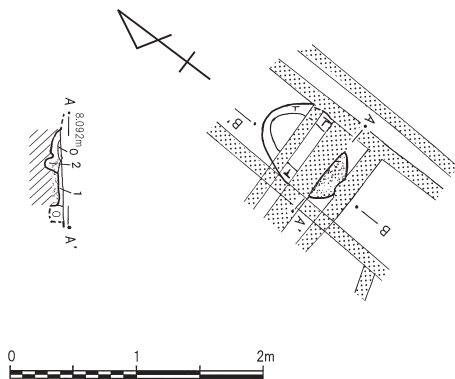
1～4 は H 48 号住居跡、5・6 は H 49 号住居跡

出土である。7～11 は溝 3 出土である。12～14 は遺構外出土である。詳細は第 18 表参照。

H49 号住居跡



焼土



H49 号住居跡

0. 攪乱

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・1mm 以下ローム粒・2mm 以下炭化物少し、3cm 以下焼土多く含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し、2mm 以下焼土僅かに、黒色土シミ状に含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒僅か、黒色土シミ状に広がる
4. 黄褐色土 ローム層

焼土

0. 攪乱

1. 赤褐色土 締り強、粘性有、焼土硬化面
2. 暗褐色土 締り弱、粘性有、ローム主体に黒褐色土を少し含む

溝 3～5 A-A' ～ D-D'

I. 黒色土 締り弱、粘性有、表土 耕作土

1. 暗褐色土 締りやや強、粘性やや強、3～5mm ローム粒を微量、酸化鉄粒少量含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性強、3～10mm のローム粒・酸化鉄粒を少量含む
 3. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、1～3mm のローム粒を多量に含む
 4. 褐灰色土 締り強～弱、粘性やや強、ローム・黒色土がシミ状に入る、中央部締り弱い、酸化鉄粒少量含む
 5. 暗褐色土 締りやや強、粘性やや弱、ローム粒多く、酸化鉄が筋状に入る
 6. 暗褐色土 締りやや強、粘性強、1～10mm のローム粒多量に含む
 7. 暗褐色土 砂質、2mm 以下ローム粒多量に含む
 8. 暗褐色土 締り強、粘性強、5cm 以下ロームブロック主体で 3cm 以下黒色土をやや多く含む
- 土坑 2・ピット 1～7 G-G' ～ M-M'
0. 攪乱
1. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、5mm 以下ロームブロック・2mm 以下ローム粒多く、2mm 以下酸化鉄少し含む
 2. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、5mm 以下ロームブロック・1mm 以下ローム粒少し、1mm 以下酸化鉄僅かに含む
 3. 黄褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム主体、黒褐色土シミ状に含む
- 0-0' (溝 3)
1. 攪乱土 締り弱、粘性有
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、2cm 以下ロームブロック・1mm 以下ローム粒少し含む
 3. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、15mm 以下ロームブロック・2mm 以下ローム粒・1mm 大酸化鉄粒少し

5. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、4 層+8cm 以下ロームブロック多く含む

6. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、2mm 以下ローム粒、砂質土混

7. 暗褐色土 砂質、6 層と比べ砂が多い

8. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム主体、5cm 以下ロームブロック多く、黒色土がシミ状に入る、掘方覆土

溝 1

S-S'・P-P'・Q-Q'

I. 黒色土 締り弱、粘性有、表土・耕作土

II. 黒色土 締り強、粘性有、1mm 以下のローム粒少し含む、埋没谷の覆土の可能性有り

1. 黒色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒少し含む、住居と違って焼土含まない

T-T'

1. 黒褐色土+褐色土

2. 黒色土 締り強、粘性有、III' のレンズ状堆積

3. 黒褐色土+褐色土 ロームブロック主体にシミ状黒色土多く含む

U-U'

2. 黒色土 締り強、粘性有、2cm 以下シミ状酸化鉄やや多く含む、1mm 以下ローム、焼土粒極少し含む

V-V'

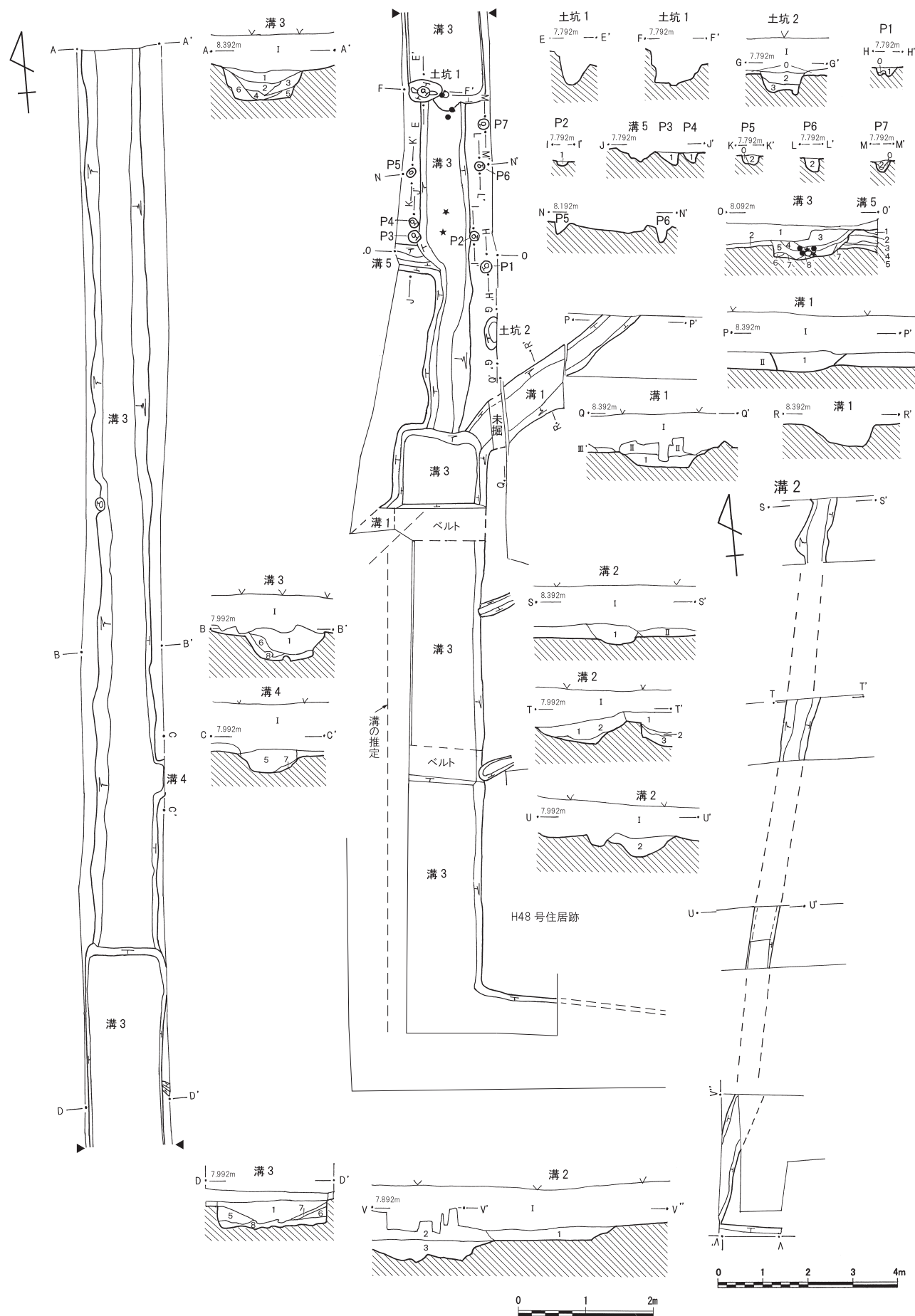
1. 黒色土 締り強、粘性有、5mm 以下シミ状酸化鉄少し含む、溝覆土

2. 黒色土 締り強、粘性有、1 層に類似、1mm 以下ローム・酸化鉄粒少し含む

3. 黒色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒少し、酸化した砂をやや層状に多く含む

第 30 図 松山遺跡第 85 地点 H49 号住居跡・焼土 (1/60)、溝土層説明

溝1～5



第31図 松山遺跡第85地点土坑・ピット・溝 (1/120)、土層 (1/80)

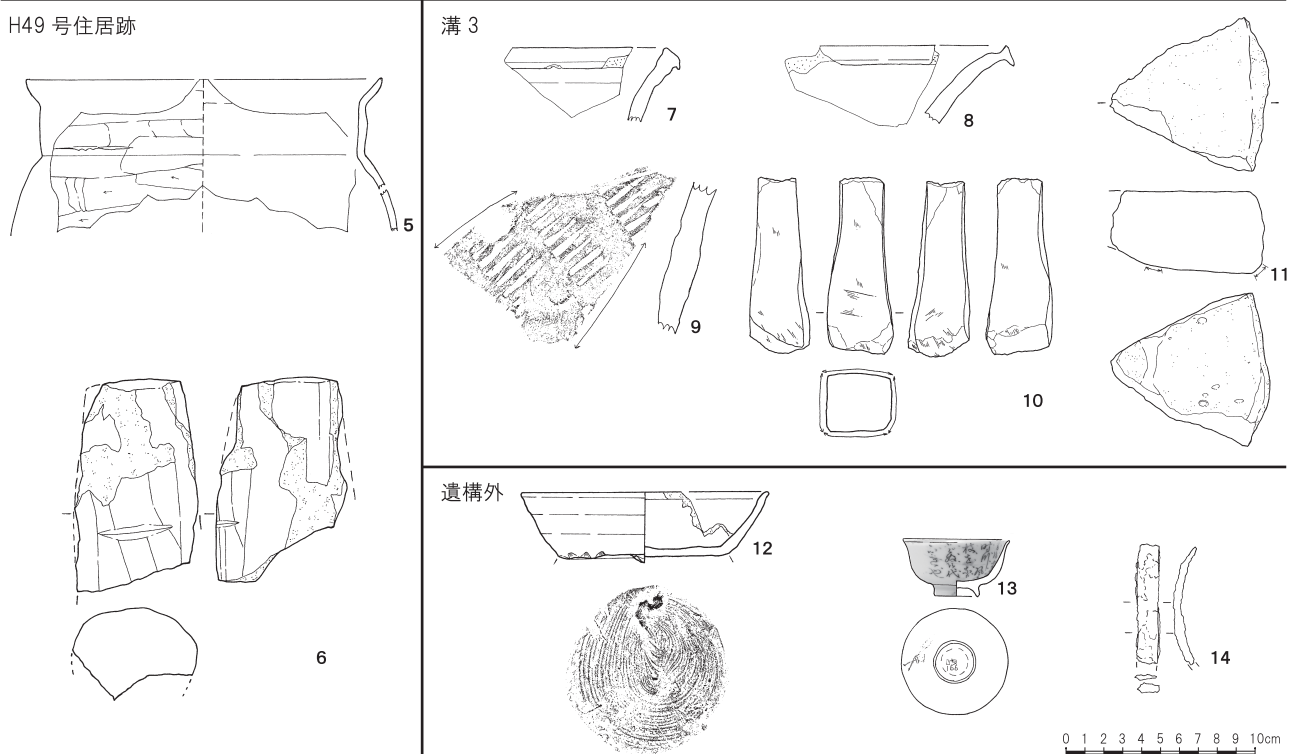
第 18 表 松山遺跡第 85 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号・No	出土遺構名・層位	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他・注記 No	推定産地	推定年代
第 32 図 1	H48 号住居跡/床面	須恵器/環	(12.5)	底径:6.0 内底径:5.6	3.6	轆轤成形/底部右回転糸切離し/胎土:にぶい褐色・口縁部のみ褐色・細粒砂/No.3、5、7、10	東金子	9c 後半
第 32 図 2	H48 号住居跡/床面	土師器/甕	(18.1)	—	(7.2)	輪積成形/内面ナデ、外面口縁部ナデ・頸部強いナデ、以下ケズリ/胎土:明赤褐色・中粒砂/器厚:0.3~0.5mm/No.1	—	9c 後半
第 32 図 3	H48 号住居跡/カマド	土製品/支脚	最小(6.0)	(9.2)	(17.7)	表面ケズリ調整/上部に煤付着、全体的に磨耗/胎土:橙色・細粒砂/重量:915.68g/No.19	—	—
第 32 図 4	H48 号住居跡/床面	土製品/粘土塊	4.0	4.0	2.6	胎土:橙色・細粒砂/重量:27.97g/No.1	—	—
第 32 図 5	H49 号住居跡/床面	土師器/甕	(18.8)	—	(8.0)	輪積成形/内面ナデ、外面口縁部ナデ・頸部ケズリ後強いナデ、以下ケズリ/胎土:橙色・中粒砂/器厚:0.3~0.5mm/No.1	—	9c 後半
第 32 図 6	H49 号住居跡	土製品/支脚	(6.1)	—	(11.2)	表面ケズリ調整/上部破片/胎土:橙色・植物繊維含有か/2トレ 3、H3	—	—
第 32 図 7	3 号溝跡/覆土	須恵器/甕	—	—	(3.9)	轆轤成形/胎土:灰色・白色針状物質、石英粒/3M No.5	南比企	9c 後半
第 32 図 8	3 号溝跡/覆土	須恵器/甕(転用砥)	—	—	(4.1)	轆轤成形/内外面に自然釉/割れ口に摩滅有り、転用砥/胎土:暗赤灰色・石英粒少量/3M	—	9c 後半
第 32 図 9	3 号溝跡/覆土	陶器/甕(転用砥)	—	—	(7.8)	紐造り/内面ナデ、外面ナデ・タタキ目/胎土:表面灰黄色・内面灰色・細粒砂/3M No.4	常滑	中世
第 32 図 10	3 号溝跡/覆土	砥石	9.3	3.55	3.2	60% 残存/石材:凝灰岩/色調:灰白色/重量:133.33g/3M No.1	—	—
第 32 図 11	3 号溝跡/覆土	石臼	(8.1)	(8.4)	4.4	下臼?破片/石材:花崗岩/重量:378.0g/下面中央部・縁部摩滅/3M No.2	—	—
第 32 図 12	遺構外	須恵器/環	13.5	底径:8.5 内底径:(8.2)	3.4	轆轤成形/底部右回転糸切離し/胎土:灰白色・細粒砂/3トレ No.1	東金子	8c~9c
第 32 図 13	遺構外	磁器/小環	5.6	2.2	3.0	轆轤成形/染付/『高砂』詩文・竹箒と熊手、高台内面に統制番号「岐 166」、畳付無釉/5トレ	瀬戸・美濃	1920~1940 年代
第 32 図 14	遺構外	鉄製品/不明	(6.3)	(1.4)	(0.6)	詳細不明、元は環状か/重量:(10.8g)/9トレ	—	—

H48 号住居跡



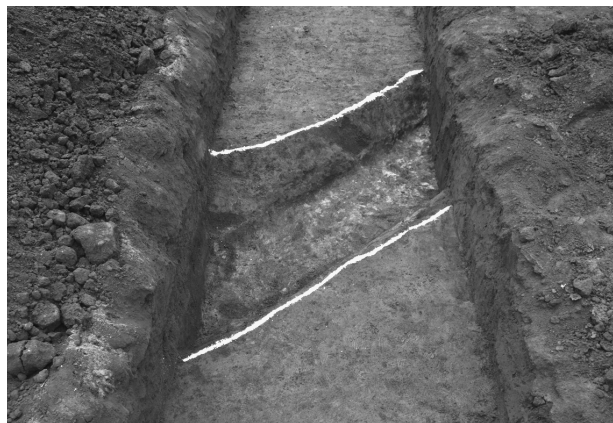
H49 号住居跡



第 32 図 松山遺跡第 85 地点出土遺物 (1/4)



松山遺跡第 85 地点試掘調査風景



松山遺跡第 85 地点トレンチ 4 溝 1



松山遺跡第 85 地点トレンチ 4 溝 1



松山遺跡第 85 地点トレンチ 5 溝 1・2



松山遺跡第 85 地点トレンチ 5 溝 1・2



松山遺跡第 85 地点トレンチ 6 溝 2



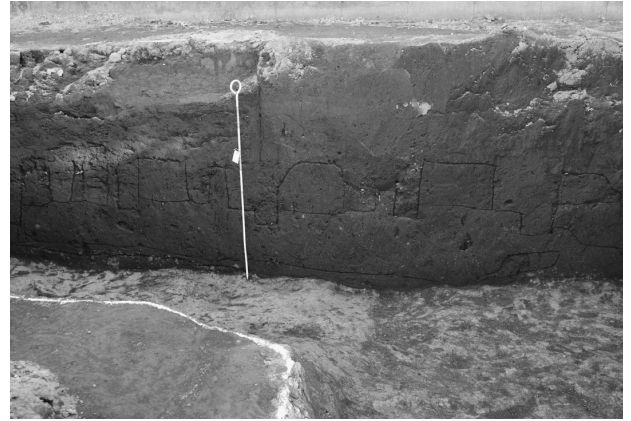
松山遺跡第 85 地点トレンチ 7 溝 2



松山遺跡第 85 地点トレンチ 8 溝 2・3



松山遺跡第 85 地点トレンチ 9 溝 3



松山遺跡第 85 地点トレンチ 9 溝 3 土層



松山遺跡第 85 地点トレンチ 9 溝 3



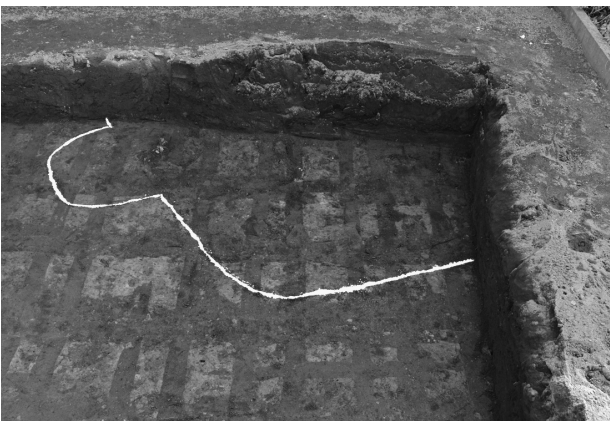
松山遺跡第 85 地点トレンチ 9 溝 3(南側)



松山遺跡第 85 地点トレンチ 9 溝 3



松山遺跡第 85 地点トレンチ 9H48 号住居跡、溝 3



松山遺跡第 85 地点 H49 号住居跡プラン確認状況



松山遺跡第 85 地点試掘調査風景



松山遺跡第 85 地点 H48 号住居跡



松山遺跡第 85 地点 H48 号住居跡遺物出土状況



松山遺跡第 85 地点 H48 号住居跡遺物出土状況



松山遺跡第 85 地点 H48 号住居跡竈支脚出土状況



松山遺跡第 85 地点 H48 号住居跡竈土層



松山遺跡第 85 地点 H48 号住居跡竈完掘



松山遺跡第 85 地点 H49 号住居跡



松山遺跡第 85 地点焼土跡



松山遺跡第 85 地点溝 3



松山遺跡第 85 地点溝 3



松山遺跡第 85 地点溝 3



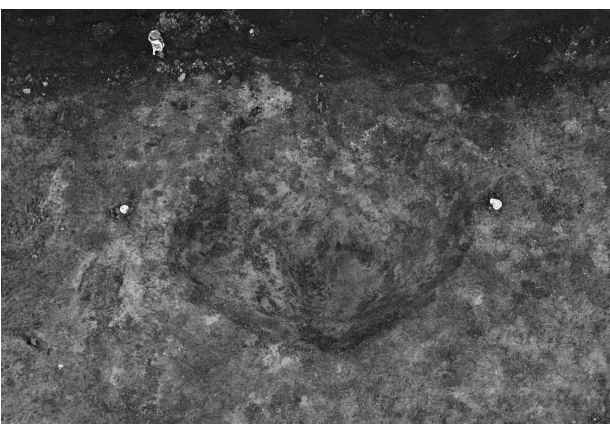
松山遺跡第 85 地点溝 1・3



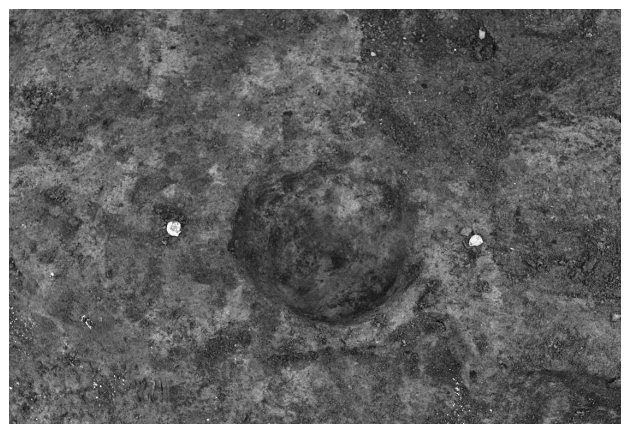
松山遺跡第 85 地点溝 3 遺物出土状況



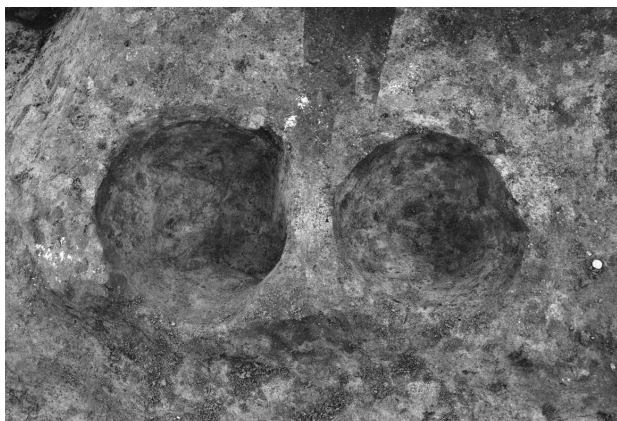
松山遺跡第 85 地点溝 3 土層



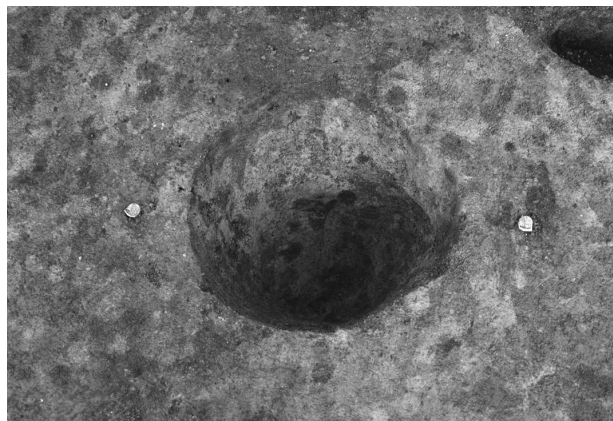
松山遺跡第 85 地点ピット 1



松山遺跡第 85 地点ピット 2



松山遺跡第 85 地点ピット 3・4

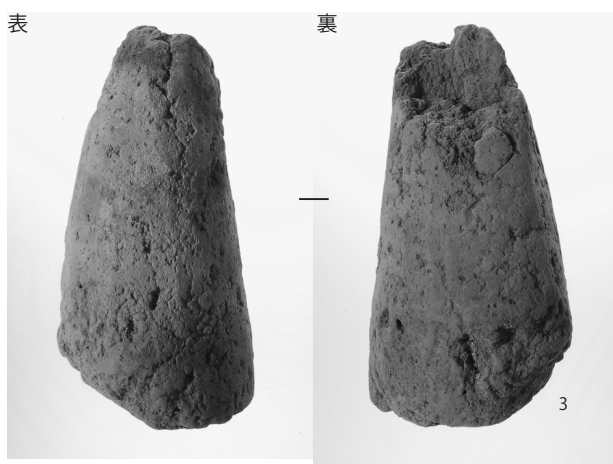
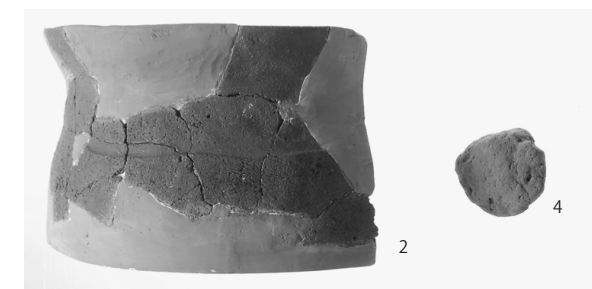


松山遺跡第 85 地点ピット 6

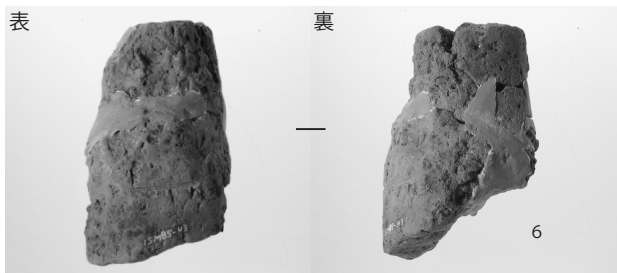


松山遺跡第 85 地点ピット 7

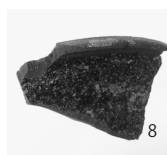
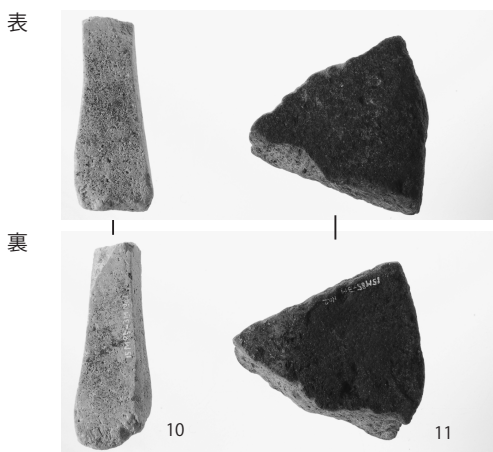
H48 号住居跡



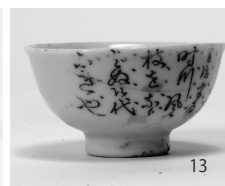
H49 号住居跡



溝 3



遺構外



松山遺跡第 85 地点出土遺物